



「人の気持ちを理解する事が、いかに重要な事なのか！」いまさらなにを言うのかと思われれるかもしれませんが、すごく大事な事なのだと思うことが、最近よく有ります。結局、自分が人の気持ちを理解する事が出来ていないから、気付かずにいる事が有るわけです。自分(私)の人に対しての欲求は、無限です。(自分はわがままな人間です。)「わかて欲しい」「気付いて欲しい」「応援して欲しい」「ほめて欲しい」～して欲しいと思う事だらけです。

「鬼は子によって生じ、求によって滅す」という言葉が有ります。これは、「人は人に対して心や気持ちを求める事をせずに、心や気持ちを与え続ける事で鬼力が出るものだ」という意味です。こんな事のできる人格になりたいと常々思い、「人の気持ちを理解し、何をしてもらいたいのか、どんな声を掛けさせてもらえばいいのか？」思い続けているつもりでいますが、ふと気がつくと、「～して欲しい」状態の自分に気がつく始末です。

先日、妻と話をしていると、「お互いが、お互いに対して～して欲しい」状態である事が判明しました。自分も仕事の話を延々とし、その仕事に対して全面的に応援してもらいたいという欲求話。妻は、その話を受けて、家族に対してもっと会話や時間を取って欲しいという欲求話。互いに自分の気持ちが先行している事に気付く、ある意味、呆れて大笑いです。

こんな会話から「人の気持ちを理解する事」が一時的には出来ませんが、又いつか戻ると、「～して欲しい」状態の自分です。この事を、何人かの人に相談させていただく機会が有り、話をさせていただくと、「人の気持ちを理解する事」を習慣化させる事しか、方法はなさそうです。

商売をさせていただいていると当然、人の気持ちが理解出来なければ、商売にはならないはずです。そこで考えずとも、今までは商売にもなるとかなら、いたかもしれないかもしれませんが、今まで以上に厳しい世の中になる時代、時流には、この事は、最も重要な事のように思われます。

妻との会話の中からヒントを見つけたとすると、「人の気持ちを理解する事」は、コミュニケーションを取る事が、まず第一で、さらに自分をさらけ出す事で初めて、「人の気持ちを理解する事」に近づけるのかもしれない。(自分をさらけ出さないと近づけてもらえませんものね)ビギナーな自分には、まず、ここからかなと思いつき、少々難しい話になりましたが、先日、風呂に入りながらこんな事を考えていましたので、書かせていただきました。何はともあれ、今年も残り所あわすか、毎日を全カ投球で締めくりたいと思っております。どうぞ皆様良いお年をお迎え下さいませ。ありがとうございました。



平成二十一年、十一月吉日

多田良雄

